

公表：令和5年3月1日

事業所名 ドリーム中央

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数やお子さんの特性に応じてグループ分けや活動場所を分け対応している。	
	② 職員の配置数は適切であるか	○			・利用人数やお子さんの特性を踏まえて必要に応じて個別対応することが出来るよう配置している。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			・手すりの設置、お子さんの特性や発達段階に合わせた視覚支援等を行っている。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			・毎日、清掃の他に遊具や食器、物品の消毒を行っている。また、定期的な換気や都度手洗い、手指消毒を促している。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・ミーティングを定期的に行い、活動内容やお子さんへの対応を振り返り、支援内容や活動のねらい等の見直しを行っている。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・集計結果を基に、保護者からの要望に沿えるよう療育内容や業務について見直しをかけている。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・定期的にアンケートを実施し、集計結果をホームページで公表している。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・導入を検討していく。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部講師を招き、社内研修を実施している。また、社外研修にも積極的に参加している。	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			・お子さんの成長に合わせて定期的にアセスメントを行い様子を把握し、保護者の方の意向を踏まえながら支援計画を作成している。	
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・月齢に合わせたアセスメントシートを使用している。	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			・ガイドラインに則した支援項目を設定している。全項目において、面談や各関係機関との情報共有を実施し、支援内容の作成を行っている。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			・支援計画作成後は全職員に周知し、内容に沿った支援を行っている。	

	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・月案を作成し、活動担当職員を中心にねらいや内容を周知し行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・月ごとに実施した活動内容を見直し、お子さんの様子に合わせながら立案している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			・専門職との個別活動を組み込みながら作成している。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前に活動担当職員を中心に活動内容や利用人数、お子さんの様子を踏まえた対応が出来るよう打ち合わせを行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・療育終了後、活動内容やお子さんへの対応等を振り返り、次へと繋げている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・提供記録以外にも個人記録にてお子さんの状態や保護者の方からの連絡事項を残している。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年ごと、またはお子さんの状態に応じて日々の記録や面談を活用し支援計画の作成、見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者を中心に参加している。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			・必要に応じて担当保健師や児相等と電話連絡や会議を通して連携を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			・該当児なし。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○			・該当児なし。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・サポートファイルを作成し就園先に提出する等連携を図れるよう努めている。また必要に応じて電話連絡や見学等も行っている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			・サポートファイルを作成し就学先に提出する等連携を図れるよう努めている。また必要に応じて電話連絡や見学等も行っている。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・必要に応じてお子さんの状態や支援内容等の情報を共有し、統一した支援が出来るよう努めている。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		・感染状況を見ながら系列保育園の行事や町内会行事に参加を再開し始めている。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		・感染状況を見ながら参加している。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・毎日の提供記録や送迎時の伝言の他に、定期的に面談や必要に応じた電話連絡を通して相談等の対応を行っている。	

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			・保護者からの相談や悩みを受けた際は、面談や電話連絡を通して迅速に対応している。また、今年度は就学前相談会や外部講師を依頼してオンライン研修を開催した。	
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時に説明を行っている。	
	㉒	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			・面談時に支援について情報共有後、了承を得ている。	
	㉓	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・定期的に面談の実施しているが、必要に応じて電話や連絡帳、送迎を通して相談等に対応している。	
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		・今年度はオンライン研修を通して保護者勉強会を実施したが、今後は感染状況を見ながら茶話会等を開催出来るよう検討して	
	㉕	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・送迎時や連絡ノートにて保護者からの申し入れがあった時には、迅速且つ可能な限り要望に沿えるよう対応している。	
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ドリーム通信、ブログ、インスタグラム等を活用し発信している。	
	㉗	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			・契約時に説明を行い、十分に注意をし取り扱っている。	
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お子さんや保護者の気持ちを受容し、寄り添いながら支援に努めている。	
非常時等の対応	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		・町内会の行事に参加する等で地域住民との交流の機会を作っている。また、イベント協力の依頼も行っている。	
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			・マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を実施している。また実施内容を契約時やグループ通信、ブログ、インスタグラム、連絡帳を通して周知している。	
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月様々な災害を想定し、訓練を実施している。	
	㉜	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			・契約時に聞き取りを行い、お子さんの状態を把握している。	
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			・保護者より聞き取り後、全職員に周知し対応を徹底している。	
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事例があった際は報告書を作成し、ミーティングの時間を活用し全職員に共有、再発防止に努めている。	
	㉟	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会が中心となり、定期的に研修を実施している。	
	㊱	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			・お子さんの安全を考慮し行動を制止させて頂く場合について、支援計画にて保護者の了承を得ている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和5年3月1日

事業所名 ドリーム中央

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数や学年、活動内容によってグループ分けや活動場所を分けている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・お子さんの情緒の状態によって個別に対応することが出来るよう配置している。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・階段には手すり、滑り止めを設置している。また、お子さんに合わせた視覚的教材の導入や、環境設定に配慮し支援を行っている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・ミーティングを定期的に行い、活動内容やお子さんの対応を振り返り、支援内容や活動のねらい等の見直しを行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・集計結果を基に、保護者からの要望に沿えるよう療育内容や業務について見直しをかけている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・定期的にアンケートを実施し、集計結果をホームページで公表している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		・導入を検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・外部講師を招き、社内研修を実施している。また、社外研修にも積極的に参加している。	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・お子さんの成長に合わせた定期的なアセスメントで課題を把握し、保護者やお子さん自身の意向、学校の様子を踏まえながら支援計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・年齢やお子さんの特性に合ったアセスメントシートを使用している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・月案を作成し、活動担当職員を中心にねらいや内容を周知し行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・月ごとに実施した活動内容を見直し、お子さんの様子や目標に合わせて立案している。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・それぞれの期間のお子さんの状態を把握しながら適宜活動内容を設定している。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・お子さんの様子や学校での様子を考慮しながら、専門職との個別活動を組み込み作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・支援開始前に活動担当職員を中心に活動内容や利用人数、お子さんの様子を踏まえた対応が出来るよう打ち合わせを行っている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・療育後は必ず全体で反省を行い、次の活動に活かせるよう共有している。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・提供記録には保護者の方に分かりやすいように支援内容を記録している。また日々のお子さんの状態や保護者からの連絡事項等も個人記録に残している。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・半年に1度、または必要に応じて支援計画の作成、見直しを実施している。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			・基本活動を組み合わせた活動計画を立案し支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・管理者が中心に出席している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・保護者より事前に連絡をもらうことで把握し、対応できるよう適宜調整を行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○		・該当児なし。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○				・前例はないが必要に応じて対応していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○		・該当児なし。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				・必要に応じてお子さんの状態や支援内容等の情報を共有し、統一した支援が出来るよう努めている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		・感染状況を見ながら町内会行事に参加を再開し始めている。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○		・感染状況を見ながら、議題内容によって参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				・毎日の提供記録や送迎時の伝言の他に、定期的に面談や必要に応じた電話連絡を通して相談等の対応を行っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				・保護者からの相談や悩みを受けた際は、面談や電話連絡を通して迅速に対応している。また、今年度は外部講師を依頼してオンライン研修を開催した。
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				・契約時に説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				・定期的に面談を実施している、必要に応じて電話や連絡帳、送迎時等にも対応している。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		・今年度はオンライン研修を通して保護者勉強会を実施したが、今後は感染状況を見ながら茶話会等を開催出来るよう検討していく。

保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・送迎時や連絡ノートにて保護者からの申し入れがあった時には、迅速且つ可能な限り要望に沿えるよう対応している。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ドリーム通信、ブログ、インスタグラム等を活用し発信している。	
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・契約時に説明を行い、十分に注意を払い管理及び取り扱いを行っている。	
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お子さんや保護者の気持ちを受容し、寄り添いながら支援に努めている。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・町内会の行事に参加する等で地域住民との交流の機会を作っている。また、イベント協力の依頼もを行っている。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・マニュアルを策定し、定期的に避難訓練を実施している。また実施内容を契約時やグループ通信、ブログ、インスタグラム、連絡帳を通して周知している。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・毎月様々な災害を想定し、訓練を実施している。	
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・虐待防止委員会が中心となり、定期的に研修を実施している。	
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・お子さんの安全を考慮し行動を制止させて頂く場合について、支援計画にて保護者の了承を得ている。	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・保護者より聞き取り後、全職員に周知し対応を徹底している。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・事案があった際は報告書を作成し、ミーティングの時間を活用し全職員に共有、再発防止に努めている。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。